

The Liturgy TIMES

11月号

発行：11月19日（木） 編集：ラファエラ・マリアセンター リタジーグループ

コロナに負けない！

リタジーのオンライン企画



後期に入り、リタジーグループでは次々にオンライン企画を実施、準備している。好評のなか終了した企画やクリスマスに向けて大詰めを迎える企画を紹介する。

教会巡り



11月8日（日）に「教会巡り online」

おうちから長崎へ！」が3時間半に渡って開催された。教会巡り



▲小神学生おすすめのコルベ小聖堂

シスコ修道会の山口雅稔神父と修練院の小神学生（神父を目指す男子）を中高生3名をZOOMでつなぎ交流した。プログラムは二部構成で、

とは、文化史学科の坂田奈々絵先生の解説で都内の教会をまわる、リタジーではおなじみの企画である。今回はその代替企画として、長崎のコンベンツアル聖フラン

第一部は坂田先生による長崎とカトリックのつながりに関する解説や山口神父と小神学生による聖コ



▲ルルドの前で合唱

ルベ記念館と本河内教会ツアーがあり、普段の教会巡りに近い内容が行われた。ツアーでは、山口神父がスマホ片手に中継するなか小神学生がコミカルな芝居も交えながら説明し、画面越しに爆笑の渦が起こっ

た。

第二部は、山口神父と小神学生によるルルド（聖母が出現したとされるフランス、ルルドの岩山を模したもの）の紹介と聖歌「あめのきさき」の披露で幕を開けた。ルルドからの移動では山口神父が学生の質問に答え、和やかな時間となった。その後、大衆紹介と全員での賛美歌の合唱、質問タイムと続き、ここでは「普段は何を食べているんですか？」といった小神学生への素朴かつユニークな質問も飛び出した。参加者からは「家にいながら長崎にいる気分を味わえました」とや「山口神父や小神学生の赤裸々なお話を聞いて良かったです」といった感想が寄せられた。（史2・高橋）

ラス・フローレス



ラス・フローレスでは、8月からオンラインミーティングを重ねている。今回作成しているのは、正門と1号館に飾るクリスマスリースと、泉の間（本館1階）に飾るアドヴェントクラウンツ（装飾されたリース）



▲人々を元気づけるデザインに

に4本のろうそくを立てたもの、クリスマスミサの祭壇に飾る花の3種類。リースとクラウンツは、話し合ったデザインをもとに、フラワーデザイナーの柴田江利子先生が作成し、クラウンツの作成には4年生のメンバーも参加した。正門のリースはそれぞれ道へ進む学生一人ひとりを表現しており、1号館に飾るリースには学生と教職員を応援する気持ちが込められている。クラウンツもクリスマスが待ち遠しくなる、楽しく華やかなデザインになっている。メンバーが作品に込めた思いを感じてほしい。（英2・徳光）



▲お披露目をお楽しみに！

アドヴェント



本学では、毎年11月に学内を飾るイルミネーションの点灯式が行われ、アドヴェントが楽しまれている。アドヴェントは、クリスマスの4週間前からカウントし、イエス・キリストの降誕を待ち望む「待降節」のことを指す。

対面での点灯式が中止となった今年は、SNSを使った企画が行われる。今回は、「光」をテーマにキャンドルやライト、星な

～クリスマスアドベント企画～

例年の11月、清泉女子大学では学内を飾るイルミネーションの点灯式が行われ、クリスマスを持ち寄りアドベント期間が盛り込まれています。今年も私たち学生がそれぞれの家でアドベントの飾り付けをし、私たちのアドベントを楽しんでほしいです。

テーマは『光』

キャンドル、ライト、星、キラキラするもの、その面白さや「光」を表現するものなら何でもOK!!

応募方法

1. 参加方法

テーマの「光」にあつた写真やイラストを送るだけ!

2. 撮影方法

スマートフォンの場合: ノーマルカメラで撮影したサイズ (1:1リサイズ)

イラストの場合: 「はがき大」

イメージ例

・応募期間: 11月1日～11月22日

・応募先: グラフィック

・ルール

・複数応募不可

※応募した作品は匿名で清泉女子大学広報 Instagram に公開します。また特別賞として学生がダウンロードしてクリスマスカードとして使用する予定です。その場合、①元編集元元編集にクレジットを「Merry Christmas」の文字を入れたいものと印刷を公開します。

皆様の素敵な作品をお待ちしております!!



▲詳しくはセンターへ

どのキラキラするものでおうちを自由に飾り付けしてもらい、その画像をセンターの専用フォームに送信してもらおう。ご応募頂いた画像は、匿名で

クリスマスミサ

心女子大学の学生にも参加を呼びかけている。今年はそれぞれのおうちでアドヴェントを楽しんでみよう。(史2・石井)

今年のクリスマスミサはオンラインで行われる。今回は、ミサの様子を撮影し、それが編集されて学生に配信される。参加者は動画の視聴によってミサに参加してもらうことになる。これが入学後はじめてのミサとなる新入生や、対面式のミサに敷居の高さを感じていた上級生も、今回は動画なので気軽に参加できるだろう。異例続きのクリスマスミサだが、本学公認サークルからは例年通り放送研究会と



▲鋭意ミーティング中!

聖歌隊が参加する。放送研究会はミサの導入部分の朗読を担当し、聖歌隊は入祭と聖体拝領、閉祭の曲を担当する。学生たちの働きにも注目しながら

動画は12月19日(木)から公開される。現在、学内でも学生の出入りは少ないが、徐々にクリスマスマスの雰囲気になりつつある。上記のアドヴェント企画と併せて自宅を飾り付けてクリスマス気分を味わいつつ、ミサの動画を見てクリスマスを迎えてほしい。(史3・岩崎)

編集後記

記者たちのつれづれ



オンライン清泉祭も無事に終わり、アドヴェントを迎えられて嬉しいです! リタジースタッフと聖歌隊の清泉祭の動画も見てくださいね! 例年とは違うクリスマスですが、こんな時期だからこそ楽しめるクリスマスを考えられたらと思います。クリスマスらしい写真を探してみたのですが、どうにも見つかりませんでした。今年はクリスマスらしい写真を撮りたいです。(史3・岩崎明日香)

先日、書店で魔女についての小さくて可愛い事典を発見しまして即購入してしまいました。書店に行った際には見つけてみてください! ハロウィーンが過ぎるとあつという間にクリスマスがやって来ます。スタッフ一同、クリスマスを楽しむことができるイベントを企画しております。アドヴェント、クリスマスミサのご参加ぜひお待ちしております!(史2・石井佑奈)

オンラインでの作業を通してわかったことがある。それは、直接会えなくても意見を出し合って形作ること。リースのように心をつなげられるということだ。特にリースは、学生や教職員の活力がぎゅっ詰まった希望にあふれた作品になっている。完成作品はSNSにてメンバーのメッセージと共に公開する。お披露目ではあたたかさや力強さが伝わればと思う。(史2・徳光泉美)

教会巡りでは、普段なら出会えなかった長崎の方々や交流できて幸せでした。同じ群馬県出身の山口神父とはミーティングでも地元トークに花を咲かせました。小神学生の3人もかなりノリがよく魅力的で、いい意味で普通の男子中高生でした(笑)。おちやめな4人にたくさん笑わせてもらって楽しかったです!(史2・高橋明音)